

ロシア語検定試験について

中澤英彦

1. はじめに
2. ロシア語能力検定
3. ロシア語検定試験
4. (補足) 通訳案内士試験
5. 比較検討

1. はじめに

現在、日本各地では様々なロシア語検定試験が実施されていると思われるが、実施規模と信頼性、客観性の点から判断するならば、代表的なものは 2. ロシア語能力検定と 3. ロシア語検定試験の二つである。さらに主旨は異なるもののロシア語能力検定試験代用としても見なされることがある、独立行政法人国際観光振興機構主催の 4. 通訳案内士試験もある。これを補足的に述べる。以下、2、3、4.を順番に見て最後に簡単にそれらを比較検討する。

2. ロシア語能力検定試験

ロシア語能力検定試験(以後能力検定試験)¹は、日本人が主催する全国規模の検定試験としては唯一のものであり、2012年度には59回目を数えるという伝統のあるものである。1957年に当時の日ソ学院、現東京ロシア語学院が開始し、第1回は初級・中級・上級の3つの級、受検者32名であった。1995年に3つの級は現在の1~4級に拡大され、1997年以降、「ロシア語能力検定委員会(委員長佐藤純一東京大学名誉教授)(事務局:東京ロシア語学院)主催となる。2009年からは秋季(10月)以外に3、4級のみ春季(5月)試験も実施され、当該級受検希望者に対しては年2回の受験機会が設けられるようになった。受検申込者数は2010年からは1000人台になり、ロシア語の分野では日本最大の検定試験となっている。

現在、主催は東京ロシア語学院ではなく、ロシア語能力検定委員会である。全国一斉に試験が実施されること、音声面を重視しながら総合的なロシア語力を検定すること、(受検者の国籍を問わず)日本語話者を対象とすること、和文露訳、露文和訳の試験科目があり、日本語の能力も同時に調べられることが特徴である。

受検者、合格率、平均点などの情報がインターネット²上に公開され、過去問題も販売・公開されるなど公開性も特徴の一つといえるかもしれない。検定試験会場は全国に複数設けられている。なお、受験資格および定員はないので、希望者は指定の試験会場で受験が可能である。

試験概略および試験科目

資料³によれば、総合的な語学力を認定するため、発足時から「読解力」のみならず「聴取力」「会話力」「日本語ロシア語翻訳能力」の4部門の試験が行なわれている。

試験の趣旨は、ロシア語学習の到達点の確認と次の目標の設定に役立てることであり、結果的に就職、通訳の際の学力証明として活用することも想定されている。試験は、同一級受検者には同一問題で全国一斉に実施され、結果（答案類）は能力検定委員会に集められ採点される。

試験は筆記形式で行なわれる。筆記以外には、4級では露文テキストの朗読、3級では露文テキストの朗読と聴き取り（リスニング）、1級と2級では聴き取り（リスニング）と会話（口頭作文）の試験がそれぞれ行われ、音声面に配慮がなされている。

試験問題、判定基準

ロシア語能力検定委員会（ロシア人専門家を含む委員合計9名 — 東京ロシア語学院の講師以外に、複数の外部委員からなる）委員が、問題の質、適・不適をチェックし、合格判定基準もチェックする。

試験官および採点者

試験は能力検定委員会から委任された試験官が実施し、答案（音声録音媒体を含む）は終了後、出題・採点委員のもとに送られ、採点される。

試験時間 試験会場

2級、4級は同一日に異なる時間帯に実施され、それとは別の日に1級、3級が異なる時間帯に実施される。

試験会場は、2011年の場合は、東京、札幌、稚内、釧路、函館、横浜、大阪、名古屋、金沢、新潟、京都、広島、福岡の各地で行われた。以下、2011年58回試験の時間帯および科目の例を挙げる。

試験時間および科目³

4級

- ①文法、②露文和訳、③和文露訳、10:00－11:30
- ④テキストの朗読（録音）11:30 から 10分

3級

- ①文法、②露文和訳、③和文露訳、13:30－15:30
- ④聴取 15:30－15:45 ⑤テキストの朗読（録音）15:50 から 10分

2級

- ①文法、②露文和訳、③和文露訳、13:00－15:00
- ④聴取 15:00－15:25 ⑤会話（口頭作文）（録音）15:30 から 15分

1級

- ①文法、②露文和訳、③和文露訳、10:00－12:00

- ④聴取 12:00－12:25 ⑤会話（口頭作文）（録音）12:30 から 15 分

各級試験科目と内容

4 級

1. 文法：文字と発音、格変化、動詞の時制、簡単な複文（配点 100 点）
2. 露文和訳：日常的な内容の文章を日本語にする（配点 50 点）
3. 和文露訳：易しい日常表現をロシア語にする（配点 50 点）
4. 朗読：アクセント付きのロシア語文章を会場で読みテープに録音（配点 50 点）

3 級

1. 文法：数詞（主格）、比較級・最上級、移動動詞（移動の動詞）⁴、関係代名詞など（配点 100 点）
2. 露文和訳：あるテーマの平易な文章を日本語に訳す（配点 50 点）
3. 和文露訳：日常生活で使うやや長い表現をロシア語にする（配点 50 点）
4. 朗読：アクセントのつけていないロシア語文章を会場で読みテープに録音（配点 50 点）
5. 聴取：ゆっくりしたテンポの露文テキストの内容を理解できる（配点 50）

2 級

1. 文法：数詞の格変化、関係代名詞・副詞、体の用法など（配点 100 点）
2. 露文和訳：一般向けの読み物や新聞・雑誌記事などを訳す（配点 50 点）
3. 和文露訳：さまざまな分野の事柄を平易なロシア語に訳す（配点 50 点）
4. 聴取：日常会話レベルの話が理解できる（配点 50）
5. 会話（口頭作文）：与えられた身近なテーマ（「家族」「友人」等）でロシア語で話し録音する（配点 50 点）

1 級

1. 文法：すべての文法事項がチェックの対象となる（配点 100 点）
2. 露文和訳：極度に文学的または専門的文体を除き、さまざまな分野の文章を訳す（配点 100 点）
3. 和文露訳：一般教養の範囲内のやや高度な内容の事柄を正確なロシア語に訳す（配点 100 点）
4. 聴取：ノーマルスピードでやや高度な話も理解できる（配点 50）
5. 会話（口頭作文）：与えられたテーマでロシア語で話をし録音する（配点 50 点）

到達度判定基準

以下、検定試験委員会発行の資料を転載する⁵。

級	文法	会話力	聴取力	読解力	和文露訳
4 級	1. 習得語彙数約 500 語 2. 名詞、形容詞、代名詞の格変化とその応用。動詞の現在、過	決まった表現や文を使って挨拶や簡単な会話が	ゆっくりしたテンポなら、習得語彙	習得語彙を主とする短いテ	挨拶や易しい日常的な事柄をロシ

	去、未来の使い分けと命令形。接続詞を使った簡単な複文。疑問詞を使った疑問文。動詞は規則変化を中心とするが、 хотеть, жить など日常よく使われるいくつかの動詞は含める。完了体と完了体の用法に関する問題は含めない。また、格変化も規則変化を中心とするが、使用頻度の高い若干の変則的な単語は含める。	できる。	を主とした簡単なテキストの内容がほぼ理解できる。	クストの要点を読み取ることができる。	ア語で書くことができる。
3級	1. 習得語彙数約 1000 語 2.4 級の文法事項に、個数詞（主格）と順序数詞、比較級と最上級、移動動詞（移動の動詞） ⁴ 、関係代名詞の使い方が加わる。また正字法の規則に関する語形変化や、使用頻度の高いいくつかの不規則変化動詞も含める。	挨拶や応対、簡単な日常会話ができる。	ゆっくりしたテンポなら、習得語彙を主とした長めのテキストの内容が理解できる。	習得語彙を主としたテキストをほぼ正確に読み取ることができる。	短い平易な文章（手紙、日記など）をロシア語で書くことができる。
2級	1. 習得語彙数約 2000 語 2. 標準的な口頭表現に用いる程度の文法事項はほぼ習得していること。具体的には3級の文法事項に、数詞（集合数詞と順序数詞を含む）の格変化、関係代名詞、関係副詞、完了体と完了体の形の対応と使い分け（移動動詞 ⁴ に接頭辞のついた一連の動詞を含む）、使用頻度の高い分詞（形動詞と副動詞） ⁴	日常生活に必要な会話ができる。（電話での短い会話、簡単な事柄の説明・通訳などができる）	日常生活だけでなく社会生活に必要なロシア語や一般的な事柄について聞いて理解することができる）	一般的な事柄についての新聞記事、手紙、説明書などの文章を読むことができる。	常識的な事柄をロシア語で書くことができる。
1級	1. 習得語彙数約 3000 語 2. 基本的にはすべての文法事項を習得していることが条件。具体的には2級の文法事項に、完了体と完了体の明確な使い分け、関係代名詞の用法、分詞（形動詞と副動詞） ⁴ 、不定代名詞・否定代名詞（副詞）、関係副詞や接続詞を用いた複文、慣用句に見られる文法事項などが加わる。	準備をすれば、長文のスピーチができ、様々なテーマでロシア人と自由に会話ができる。	ネイティブスピーカーによる一般的なテーマの話が分り、専門的な話も事前の準備があれば理解できる。	一般的な事柄についての文章を読むことができ、専門的な文章についても、必要な内容を読み取ることができる。	キーポイントになる単語と表現が与えられれば、専門分野の露訳もできる。

試験の条件及び合格点

各級とも各試験科目の配点の60%以上が合格とされる。なお、いずれの級も辞書の使用は認められない。

試験対策・結果

受験者全員に合否結果、合格者には合格証が郵送される。また問題の解答例およびそれを読むことがロシア語学習になるほど詳細な解説が送付される。

なお、能力検定試験への対策は、過去問題が公売され、さらに市販の問題集もある。

検定料（消費税込み）

4級は7000円、3級から1級は8000円

なお、ホームページ <http://www.tokyorus.ac.jp/kentei/FAQ.html> で、合格者の受検番号と全体の平均点、受検者数などが発表される。申込者数、受検者数、合格者数、受検者全体の平均点、合格率、受検者数、年齢別、性別数については過去10年分のものが各級別に発表されている。

試験問題の具体的内容

公表・市販されている過去問題から各級の問題の形式、内容について略述する。過去数年間の問題を見る限り、問題自体の内容は毎回異なるものの、設問の形式はほぼ同一である。2011年度の問題の例を以下記す。

4級 問題用紙（A4サイズ）は合計10ページ。

文法

- I 単語の発音を4者択一で選ぶ問題10問。
- II 単語のアクセントの位置を4者択一で選ぶ問題10問。
- III 名詞の性に対する知識を問う問題10問。
- IV 名詞の複数形の語形及びアクセントを問う問題10問。
- V 文中の形容詞+名詞の必要な形を3者択一で選択する問題15問。
- VI 各種の疑問文に対する答えを3者択一で選ぶ問題5問。
- VII 文に適切な動詞の現在変化を入れる、記述式問題⁶20問。
- VIII 与えられた文を過去形および未来形に書き換える問題、それぞれ5問。

露文和訳 1行10語、11行程度の露文を和訳する問題。

和文露訳 「彼女には息子がいます。彼はコーリヤ(Коля)といいます。彼は日本に興味があります」というような日常的話題を露訳する問題5問。

朗読 1行10語、13行の露文を10分間朗読しテープに吹き込む。単語にはアクセントがふられている。

3級 問題用紙（A4サイズ）は合計10ページ。

文法

- I 動詞不定詞及び形容詞+名詞・代名詞の主格を文中で適切な形に変える記述式問題。動詞14

問、形容詞・名詞・代名詞 16 問。

- II 文中の動詞不定詞を命令形に変形する問題 5 問。動詞の格支配を受ける人称代名詞を適切な格に変形する問題 5 問。
- III 文中の（ ）内に関係代名詞 **который** を適切な形にして挿入する記述式問題 10 問。
- IV 文中の（ ）内に数詞+名詞を適切な形にして挿入する問題 10 問。数詞+名詞の結合規則及び統語的に必要な格を決定する問題。
- V 文中の形容詞の単一式比較級を記述する問題 5 問。アクセントを付与する事も求められる。
- VI 移動動詞の問題 10 問。定動詞—不定動詞（非他動詞）を選択し、適切な形に変化させる。
- VII 文中に与えられている移動動詞（他動詞）3 つから択一し、適切に変化させる記述式問題 5 問。

露文和訳 1 行 13 語、11 行程度の文章 2 問を和訳する記述式問題、3 級のレベルを超える語には語注がある。

和文露訳 日常的話題の和文を露訳する問題 5 問。和文合計 9 行。日常会話レベルの文章（手紙、メール、紹介的内容）合計 1 行 30 字、9 行。3 級のレベルを超える語には語注がある。

聴取 1 行 13 語、28 行の露文を聞き、設問に答える問題。設問は 3 者択一問題 10 問。

朗読 1 行 13 語程度、20 行の露文を 10 分間朗読しテープに吹き込む。単語にはアクセントがふられていない。

2 級 問題用紙 (A4 サイズ) は合計 7 ページ。

文法

- I 1 行 10～13 語、23 行の文章を読み、文中の語、語群を適切な形に変形する記述式問題。格支配（前置詞を含む）や名詞、形容詞の語形変化の知識を問う問題 15 問。
- II 文中の空欄に適切な動詞を入れる記述式問題。動詞語彙の知識および動詞アスペクト（完了体と不完了体）選択および語形変化の問題。
- III 文中の（ ）内に数詞+名詞、数詞+形容詞+名詞を適切な形にして挿入する問題 8 問。数詞が万、10 万単位になり、かつ集合数詞の知識も問われる。
- IV 文中の（ ）内に与えられた不定詞を適切な分詞形（形動詞）⁴にする記述式問題 7 問。

露文和訳 1 行 13 語、11 行程度の文章全文を和訳する記述式問題。2011 年度の文章のテーマは、現代社会における貨幣の役目についての文章であった。2 級のレベルを超える語には語注がある。

和文露訳 日常的テーマの文章（1 行 40 字、合計 9 行）を露訳する問題 5 問。「雪合戦をする **играть в снежки**」のように、3 級のレベルを超える語には語注がある。

聴取 1 行 10 語、13 行の露文を聞き、内容を可能な限り詳細に日本語で記述する記述式問題。

口頭作文 (Устное сочинение) 2011 年度は「О музыке 音楽について⁷」というテーマについて自分の考えをまとめ、テープにロシア語で 15 分間吹き込む問題。

1 級 問題用紙 (A4 サイズ) は合計 7 ページ。

文法

- I 1 行 10 語、25 行の文章を読み、文中の語、語群を適切な形に変形する記述式かつ総合問題⁸。動詞語彙の知識および動詞アスペクト（完了体と不完了体）選択、関係代名詞および語形変化の問題。語形変化とは具体的には分詞形（形動詞、副動詞）⁴や成句の知識を問う

問題 14 問。

- II 文中の空欄にある語、語群に適切な前置詞を付けて変形する記述式問題 10 問。格支配、成句の知識の問題。
- III 文中の空欄に提示された「動詞語根プラス語尾」に適切な前置詞を付与し、変形する問題 10 問。語形成（接頭辞）の知識および動詞アスペクト選択の問題。
- IV 文中の（ ）内に与えられた不定詞を適切な分詞形（形動詞）⁴にする記述式問題 7 問。

露文和訳 1行10語、20行程度の文章全文を和訳する記述式問題。2011年度の文章のテーマは、現代社会における恋愛、結婚にまつわる道德の問題であった。「инфантилизм 幼稚症」のように、高度な専門語などには語注がある。

和文露訳 現代社会における焦眉の問題についての文章を露訳する。2011年度は朝日新聞の投書欄から、節電の問題についての文章（1行38字、合計11行）の露訳であった。

聴取 1行7～10語、17行の露文を聞き、内容を可能な限り詳細に日本語で記述する記述式問題。2011年度は動物や昆虫の「家畜」化の問題であった。

口頭作文（Устное сочинение） 2011年度は「未来のエネルギーについて」というテーマについて自分の考えをまとめ、テープにロシア語で15分間吹き込む問題。

3. ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験

Тест по русскому языку как иностранному（以後ТРКИと省略）英語 Test of Russian as a Foreign Language (TORFL)⁹、ロシア連邦教育科学省が認定するロシア語検定試験である。ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR (the Common European Framework of Reference for Languages) への対策の一環として創設、1992年から実施され、1998年からは非母語話者でロシアの大学へ入学、編入および大学院への入学を希望する者は受験・合格が義務付けられた。

ロシアの大学への入学希望者は1級、ロシア語学専攻大学院の場合は3級、それ以外の専攻大学院への入学希望者は2級に合格することが求められる。

このように、いわばТРКИはロシア語版TOEFLといえる。対象は非母語話者で、ロシア国内及び国外で試験が実施される。

試験の本来の目的はロシアの大学・大学院に入学後学業を修めるに足るロシア語力の検定のためであるが、ロシア語能力判定のための判断材料としても活用される。

ロシア国内の試験センターで実施、日本では、日本対外文化協会主催（ロシア語検定試験実行委員会）が中心となり、札幌、他で実施している。そのほか、ロシア極東連邦総合大学函館校などでも受験が可能であるが、どの日本会場でも受験者に一定の定員があり、それ以上は受験できない。

これから日本対外文化協会主催（ロシア語検定試験実行委員会）およびロシア極東連邦総合大学函館校の資料に基づいてТРКИを見ていこう¹⁰。

日本対外文化協会主催の場合は、2011年、8月26日(金)、8月28日(日)、8月29日(月)に実施された。

辞書の使用に関しては以下のとおりである。

- 1) 入門、基礎、第1レベルでは、読解、作文、会話の一部で露和・和露辞典を使用できる。
- 2) 第2、第3レベルでは、作文、読解の一部で露露辞典のみを使用することができまる。
- 3) 第4レベルでは辞書は使用できない。どのレベルでも電子辞書は使用できない。

検定料（消費税込み）

1) 5科目全部の検定試験を受ける場合

入門レベル、基礎レベル、第1レベルは、5科目全部の検定試験を受ける場合	18,000円
第2レベル、第3レベル、第4レベルは、5科目全部の検定試験を受ける場合	20,000円

2) 合格基準点に達しなかった科目を再受験する場合

入門レベル、基礎レベル、第1レベルの再受験は、1科目ごとに4,000円
第2レベル、第3レベル、第4レベルの再受験は、1科目ごとに5,000円

試験科目

文法・語彙、読解、聴解、作文、会話 の5科目からなる。

試験問題、判定基準

文法・語彙、読解、聴解、作文、会話 の5科目とも66%以上の得点が合格点である。全科目の合格者には成績表とレベル認定書が授与される。なお、不合格の科目が2科目以下の場合、2年以内に不合格科目だけを再受験し、合格すれば、認定書が授与される。

第1レベルはロシアの大学への入学希望者に求められる最低限の語学力で、第2レベルは、ロシア語学以外を専攻とする大学院への入学希望者に求められる最低限の語学力、第3レベルはロシア語学専攻の大学院入学に必要な最低の語学力、第4レベルは母語話者とほぼ同じレベルとされる。

試験会場

札幌、他。ロシア極東連邦総合大学函館校など。

試験官および採点者

有資格の試験官が行う。

試験時間および科目

試験時間は受験レベルによって異なる。詳しい時間割は受験者本人宛に通知される。

文法・語彙 50～90分、読解 45～60分、作文 50～80分、聴解 25～45分、会話 30分（一人ずつ実施します。）

具体的時間進行時間割

以下、ロシア極東連邦総合大学函館校のサイト⁹により、2011年度の試験を具体的な試験内容・日程を見よう。なお、形式はスペースの問題で適宜変更してある。

基礎テスト

基本的なロシア語を理解し、かつ平易なロシア語を聞き、話し、読み、書く能力をテストします。

12月10日

- 9:30 開場
- 10:00 文法と語彙 単語の意味を理解し文脈のなかで正しく使う。名詞の格変化と動詞の活用 単文、複文 辞典は使用不可
- 11:00 読解 ロシアの文化、生活一般についての平易な露文(600語程度)を読み、内容についての質問に対する答を選ぶ。辞典は使用可
- 12:00 休憩
- 13:00 リスニング 400語程度の会話をテープで聞き、内容についての質問に対する答を選ぶ。テープは2回流される。辞典は使用不可。
- 13:40 作文 課題にそって露文(400語程度)を作成する。テストは2部からなり、一部のみ辞典は使用可。
- 14:40 会話 テストは4部からなる。与えられた状況で試験官の話しかけに応じる。与えられた状況で試験官に話しかける。露文を読みその内容について試験官と会話を行なう。与えられたテーマに沿って話をする。その後その内容について試験官と会話を行なう。

試験時間は一人60分

16:50 終了

12月11日

- 8:30 開場
- 9:00 会話
- 12:20 休憩
- 13:00 会話
- 17:30 終了

試験当日、露和・和露辞典の持込可。ただし使用できるのは一部科目のみ。辞典使用については各試験前に担当官より指示いたします。

1級

社会生活に必要なロシア語を聞き、話し、読み、書く能力をテストします。

ロシア国内の大学への入学希望者は1級に合格していることが必要です。

12月10日

- 9:30 開場
- 10:00 文法と語彙 単語の意味を理解し文脈のなかで正しく使う。名詞の格変化と動詞の活用変化不定形、完了体・不完了体、移動動詞（運動の動詞）⁴、接頭辞付きの移動動詞（運動の動詞）⁴。
単文、複文 辞典は使用不可。
- 11:10 読解 大意を把握し筆者の意図を理解する能力をみる。ロシアの文化、社会一般についての

露文(800 語程度)を読み、内容についての質問に対する答を選ぶ。辞典は使用可。

- 12:00 休憩
- 13:00 作文 テストは2部からなる。露文を読み、その内容についての質問に答える文を書く。条件を満たしつつ、与えられたテーマに沿って20文以上の作文をする。辞典は使用可
- 14:10 リスニング ロシアの文化、社会一般についての平常のスピードで話されるテープ(800語程度)を聞き、その内容についての質問に対する答を選ぶ。辞典は使用不可。
- 14:55 会話 テストは4部からなる。与えられた状況で試験官の話しかけに応じる。与えられた状況で絵を見て試験官に話しかける。露文を読みその内容について試験官と会話を行なう。与えられたテーマに沿って話をする。その後その内容について試験官と会話を行なう。

試験時間は一人60分

17:05 終了

12月11日

- 8:30 開場
- 9:00 会話
- 12:20 休憩
- 13:00 会話
- 17:30 終了

試験当日、露和・和露辞典の持込可。ただし使用できるのは一部科目のみ。辞典使用については各試験前に担当官より指示いたします。

2級

より専門的なロシア語の理解能力、ロシア国内の大学卒業程度のロシア語能力をテストします。

ロシア国内のロシア語学専攻※等以外の大学院への入学希望者は2級に合格していることが必要です。

※受験を希望する大学院がロシア語学専攻等に該当するか否かは、ご本人が直接ご確認ください。

12月10日

- 9:30 開場
- 10:00 読解 ロシアの社会一般、文化、ビジネス等に関する読み物や文学作品を読む能力、また情報収集と大意把握のための読解力をみる。露文を読み、内容についての質問に対する答を選ぶ。問題は2部からなり、第2部のみ露露辞典の使用可。
- 11:10 作文 実生活に起こり得る様々な実際的な状況に応じて適切な作文をする。露露辞典の使用可。
- 12:05 休憩
- 13:00 リスニング 学術、ビジネス、ロシアの文化また社会一般の分野で必要に応じて情報を聴き取り理解する能力をみる。テープとビデオを視聴し設問に答える。辞書は使用不可。
- 13:40 文法と語彙 様々な動詞の態、体(過去、未来の時制における完了・不完了体、さらにその不定形、命令形等)接頭辞、接尾辞付きの動詞、再帰動詞、名詞、形容詞、数詞、代名詞等の性、数、格、主語と述語の呼応。形動詞、副動詞。接続詞と複文等。辞書は使用不可。
- 15:20 会話 様々な状況に応じて条件を満たしつつ正しいイントネーションを用いて意思を伝達

する能力をみる。テストは3部からなる。指示に従い話をする。与えられた状況で試験官と会話を行なう。与えられたテーマについて試験官とディスカッションを行う。

試験時間は一人 50 分

17:10 終了

12月11日

8:30 開場

9:00 会話

11:50 休憩

13:00 会話

16:50 終了

試験当日、露和・和露辞典の持込可。ただし使用できるのは一部科目のみ。辞典使用については各試験前に担当官より指示いたします⁹。

到達度判定基準

以下、日本における主催団体の日本対外文化協会:ロシア語検定試験実行委員会 のホームページ¹⁰ <http://www.taibunkyo.com/kentei/kenteilevel.htm> より引用する。なお、レベルの次にある英訳は我々が付し、本稿の視覚的観点からブロック体や形式を一部変え、文法用語も一般言語的用語に変更した¹¹。

▲入門レベル Elementary (part of the Basic level)

限られた場面で、基礎的な語彙や表現を使ってロシア語でコミュニケーションを取れる。

文法・語彙 習得語彙数 780 語。基本単語を理解し、文章の中で正しく使うことができる。人称代名詞と名詞、名詞と形容詞を一致させて格変化できる。動詞の体、時制を使い分けられる。動詞の不定形の用法。きわめて基本的な移動動詞（運動の動詞）。接続詞 **и, а, но** を使った複文、関係代名詞 **который** や **что, когда, куда, потому что** など 基本的接続詞を持つ簡単な複文の理解。

読解 簡略化された文学作品や評論などの文章を読み、問いに答えることができる。

作文 事実表現の簡単なテキストを読み、内容に関する質問の答えを書く。自分自身、友人、家族、仕事、休日の過ごし方などの質問に、5つ以上の短い文章で答えることができる。

聴解 短い会話やモノローグを聞いて、そのテーマや主な内容など大意を理解し、聞いた内容に合った文章を選ぶことができる。

会話 自分のこと、友人、家族、仕事、余暇など、日常的なテーマで会話をすることができる。

▲基礎レベル Basic

日常生活場面で必要最低限のコミュニケーションを取ることができる。限られた一定の範囲で専門的活動をするための基礎的なロシア語力がある。

文法・語彙 習得語彙数 1300 語。類似の語彙を前後関係から正しく使い分けできる。文脈の中で語、語句を格変化させることができる。動詞の体、時制の使い方、動詞の不定形の用法、移動動詞

の使い方。関係代名詞 **что, кто** などや接続詞 **чтобы, поэтому** などを持つ複文の作り方。

読解 掲示、広告などから取った様々な短いテキストを読み、基本情報をつかむことができる。地域研究、社会評論、日常生活などについて平易に書き直された文章の内容を理解できる。

作文 テキストを読み、設問にそって文章にすることができる。10以上の文章で自己紹介文(自分のこと、家族、外国語の学習、仕事、余暇、故郷、健康など)を書くことができる。

聴解 日常生活や文化的なテーマについての会話やモノローグを聴いて、その主な内容(テーマ、場所、時間など)を理解できる。

会話 典型的なよくある状況で話し掛けたり、自分の意思を伝えたりできる。自分のこと、友人、家族、勉強や仕事、外国語学習、休日の過ごし方、健康や天候などについて話ができる。テキストを読んで、自分の意見を言うことができる。

▲第1 レベル Level 1 (Intermediate)

日常生活や社会的文化的場面でコミュニケーションをとることができる。このレベルの試験の合格者は、ロシア語学習を続けることを条件に、ロシアの大学入学が認められるが、さらに専門分野別ロシア語テストにも合格する必要がある。

文法・語彙 習得語彙数 2300 語。類似の語彙を適切に使い分けることができる。形容詞や前置詞を伴う語群を文章のなかで正しく使用できる。文脈の中で、動詞の不定形、完了体・不完了体、移動動詞¹⁾を正しく使い分けすることができる。並列複文、従属複文を理解する。

読解 新聞や雑誌、本の文章を読み、全体的な内容をつかみ、著者の結論や評価を理解することができる。

作文 読んだり、聞いたりしたテキストの主な内容を、与えられたテーマに沿って、まとめることができる。出されたテーマ(自分のこと、家族、勉強、外国語学習、休日の過ごし方、故郷、健康、天候など)について 20以上の文章を書くことができる。

聴解 短い会話を聴いて、内容(テーマ、時間、関係、特性、目的、理由など)を把握する。長めの会話を聴いて、その話者たちの意見や行為に対する自分の考えを述べる。アナウンス、ニュース、社会的文化的内容の情報などを理解できる。

会話 日常生活の広範囲な場面で、会話に加わり、話し掛け、話合い、話をしめくくることができる。自分のこと、仕事、職業、関心事、国や町、文化問題など様々なテーマについて話ができる。社会的、文化的内容の文章を読んで、これをもとに自分の意見を述べることができる。

▲第2 レベル Level 2 (Advanced)

あらゆる面で、かなり高度なコミュニケーション能力を有していることを証明するテスト。人文、技術分野、自然科学分野の専門家にはこのレベルのロシア語力が必要とされる。ロシアの大学で学士、修士、博士候補の資格を取得したいと願う者にとっては、このレベルを合格することが必要条件の一

つ。同じレベルの専門分野別語学テストにも合格する必要がある（人文系専門家、通訳、編集者、ジャーナリスト、外交官、ロシア語を話す職場で働く人には、さらに上のレベルのロシア語力が必要とされる）。

文法・語彙 習得語彙数 6000 語。主語と述語の一致、形容詞の長・短語尾形、完了体・不完了体、動詞や短語尾形の補語、時、場所、原因、様態など修飾の副詞句、分詞（形動詞、副動詞）¹¹、複文、動詞の接頭辞の使い分け。公文書、論文、ジャーナリズムなどの文体がわかる。

読解 評論、文芸、叙述文、物語文など各種の長文や、著者の評価の入った様々な文章を読むことができる。

作文 目的にそって考えをまとめ、手紙やレポートを書くことができる。手紙やビジネスレター、事務的文書（申請書、照会、説明文など）を書くことができる。

聴解 話し手たちの関係がわかる日常会話を理解できる。ニュースなどを聴き取ることができる。登場人物の関係が描写された劇映画やテレビ番組の会話を理解できる。

会話 与えられた条件にそって会話ができる。詳しく質問したり、見たことの要旨を語ったりできる。自分の意見や価値判断を伝えることができる。自由な会話の中で問題を分析できる。

▲第3 レベル Level 3 (Proficiency)

あらゆる面で高度なコミュニケーション能力を有していることを証明するテスト。人文系専門家、通訳・翻訳者、編集者、ジャーナリスト、外交官、ロシア語を使用するビジネスマンなどに必要なレベル。ロシアの大学でこれらの分野の学士、修士の資格を取得するには、さらに同じレベルの専門分野別ロシア語テストにも合格する必要がある（人文系修士は、さらに上のレベルのロシア語力が必要とされる）。

文法・語彙 習得語彙数 12000 語。自由に使いこなせる語彙数 7000 語。述語の体と時制、形容詞の長・短語尾形、形動詞。動詞不定法（否定代名詞、否定副詞をもつ無人称文の単文）。文法的・意味的に正しく語を結合できる。並立複文・従属複文の接続詞の用法。分詞（副動詞）¹¹ 構文。類似した語彙の使い分け。動詞の接頭辞の使い分け。慣用句。

読解 かなり高度な内容の社会文化関係の文章や、法令や公報など公式文書を理解でき、ロシアの文学書を読むことができる。

作文 論文の概要、公式・非公式の手紙、読み聞きしたことを分析する報告書を書くことができる。論理的な文章（論文、エッセー、手紙など）を書くことができる。

聴解 テープやビデオの内容を全体的に把握し、話し手の考えや立場など細部も理解できる。聴いた内容（ラジオ・テレビ・映画、講演の録音テープなど）を評価できる。

会話 目的や話し方に応じて、いろいろな言い回しを使いながら会話を続けることができる。会話で意見の衝突が生じた場合には、話し合いを通じて解決することができる。道徳・倫理問題をモノログの形で論ずることができる。自由会話では、自分の意見を主張し、論証することができる。

▲第4レベル Level 4 (Fluency)

ロシア語を母語とする人に近い、高いロシア語力を持つ。ロシア語を教えたり研究したりする専門家に必要なレベル。

文法・語彙 習得語彙数 15000 語。自由に使いこなせる語彙数 8000 語。文脈の中での動詞の体、時制の正確な使い方。数詞と名詞・形容詞との結合。文脈での名詞の複数と単数の違い。形容詞と名詞、名詞と属 (生) 格⁴の意味の違い。文体やジャンルに応じて適切な語彙を用いることができる。並立複文と従属複文の接続詞の使い方。さまざまな感情表現法。語順による意味の違い。形容詞の同根類義語。同じような意味の単語の使い分け。動詞の接頭辞の使い分け。慣用句。移動動詞の転意。

読解 どんなテーマでも理解し、正確に解釈できる。抽象的哲学的な文章や専門的文章を読むことができる。評論や文学作品の言葉の裏に隠された意味や、概念を読み取ることができる。

作文 提起された問題について自分の見解を盛り込んだ文章や、他者に働きかけるための文章を書くことができる。

聴解 ラジオやテレビ番組、映画のシーン、講演の録音テープ等の内容を、社会文化的特性、感情、言外の意味などを把握し、ほぼ完全に理解できる。

会話 準備のあるなしに関わらず、演説、対話、討論など、どんな形のコミュニケーションでもこなすことができる¹⁰。

具体的試験内容

ТРКИ は試験問題を公表していないので、受験者の体験により問題・設問を復元・想像せざるを得ない。以下は日本人にとって一番関心があると思われる第1レベルおよび最高のレベルである第4レベルのより具体的試験内容を受験者(複数)の体験談¹²をまとめたものである。なお、形式などは適宜変更してある。

▲ТРКИ-I 第1レベル

筆記

文法・語彙 (лексика, грамматика) лексика は小問が 165 問。

読解 (чтение) 大問が 3 題 (1.2.3.)。小問 20 問。1. モスクワの Царицыно の簡単な歴史を述べた長文に対する質問 6 問。2. アメリカでファッションショーを行うアーティストの日記に対する質問 10 問、3. 言語を学ぶ意味についての文章に対する質問 4 問。

作文 (письмо) 大問が 2 題 (1.2.)。1. 街中で広告を見て、友人と一緒に旅行しようと誘いかける手紙執筆 (15 文以上)、2. テニスクラブのコーチに休暇を申し出る申請書 (5 文以上) 執筆。
作文にはクリアしなければならない条件がある。例えば、内容に含まねばならない項目があり、申請書執筆などの場合当然のことながらフォーマルな文体が要求される。

聴解 (аудирование) 大問が 5 題。小問 24 問。テキストの朗読を 1 回を聞き、選択問題 5 問に答える形式。問題文と選択肢を読むのも 1 回。

会話（говорение） 大問が4題。1. 道案内などの質問に対し答える問題、2. 空港でのチケット購入、日本旅行のお薦め場所やレストランでの注文などを行う問題。3. 試験管から提示された文章を読み要約する問題。文章の内容に対する質問に回答する問題、4. 友人について15文以上を用いて描写する問題など。

TRKI-4 第4レベル¹³

会話（говорение）試験以外は、TRKI 公認の試験が用いられ、前年不合格で翌年受験する場合、同一問題が使用される。

文法・語彙（лексика, грамматика） лексика 全問題がすべて選択式問題。文法の盲点をつくような問題が多い。

読解（чтение） 選択式問題が大半で記述式問題もある。例。脈絡なく並べられた段落単位の文章を意味の通る文章に並べ替える問題。テキスト中に欠如した語を挿入する問題。記述式の問題は語学力を検査する問題があり、さらに文学や芸術関係の一般教養を問う問題—読解問題に出てくる芸術家の作品をロシア語で挙げる問題—がある。

作文（письмо） 記述式問題のみで、受検者が大まかなテーマを選択する。問題例—新聞記者になったつもりで選んだテーマについて記事を書く問題。

会話（говорение） 事前に全問題への準備時間が15分ほど与えられ、試験が開始される。

1. ロールプレイ—ある状況設定の下に試験官とロールプレイをする。状況の例。「部下の書類に駄目だしをする」「隣人に生活の問題を相談しに行く、そこで口論になり説得する」「幼稚園の保護者会議での園長先生のお話（3分ほどのモノローグ）」「ラジオ演説（5分ほどのモノローグ）とリスナーからの質疑応答」 2. 試験官が口頭で文を言い、文中で用いた多義的な形容詞の反意語を答える問題5問。

聴解（аудирование） 討論番組と文学作品の映画（CDではない）の一部を見て、選択式の質問に答える問題。選択肢は選択に迷うような似通っている問題。映画の断片のみを見て、「登場人物の感情」を的確に答えるためには、作品に対する予備知識を持っていることが有効である。討論番組発言者の意見を理解できるか、意見の根拠は何か、論点は何かを聞き取る。聴解は問題数が少なく、一問一問の比重が重く、基準点を越えるのは容易でない。

試験対策・方策

TRKI は過去問題を公表していないが、出題の形式は毎回同じであり、市販の参考書類（見本テストなど）によって準備が出来る。

4. （補足）独立行政法人国際観光振興機構主催の通訳案内士試験

通訳案内士は、報酬を得て、通訳案内（外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をすることをいう。以下同じ。）を行う業とする（通訳案内士法昭和二十四年六月十五日法律第二百十号、第一章 総則第二条）と規定¹⁴されている。このような通訳案内士の適正を試験するのが（独立行政法人）国際観光振興機構主催の通訳案内士試験（以後通訳試験と略記）である。試験の主旨はあくまで通訳案内士の適正・能力試験である。しかし、全国的規模のロシア語検定試験がこれまであまり知られていなかったことと通訳試験が国家試験であるために、主旨は異なるもののロシア語能力検定試

験代用として時々見なされてきた。そこで、この試験の外国語、本稿ではロシア語試験のみを瞥見する¹⁵。

出題規準および配点

過去4年間の過去問題は日本政府観光局のサイト

http://www.jnto.go.jp/jpn/interpreter_guide_exams/index.html

で閲覧可能である。ただし、著作権に触れる部分は、引用元・文献のデータのみ開示され、文章そのものは黒塗りされ閲覧できない。この部分は想像するしかない。本稿では平成22年度、23年度の試験問題を対象とする。

なお、通訳案内士試験の出題基準は、「通訳案内士試験ガイドライン」(国土交通省)によっており、外国語筆記試験の問題および配点は下の基準により出題されている。

「出題は概ね、外国語文の読解問題(配点35点程度)、外国語文和訳問題(15点程度)、和文外国語訳問題(15点程度)、外国語による説明(あるテーマ、用語について外国語で説明する、あるいは、日本語の文章を外国語で要約する)問題(20点程度)、単語外国語訳問題(15点程度)を基準とする。」

試験時期、試験会場

2011年度の場合は

- 1次試験である筆記試験・・・8月下旬頃
- 2次試験である口述試験・・・12月中旬頃に行われた。

試験会場は1次試験

札幌、仙台、東京、名古屋、京都、広島、福岡、那覇、ソウル(韓国語のみ)、北京(中国語のみ)、香港(中国語のみ)、台北(中国語のみ)

2次試験はロシア語(英語・中国語以外)・・・東京

試験官および採点者

筆記試験 口述試験とも2人以上の試験委員

試験科目および試験時間

- 第1次試験

1. 筆記試験(記述式)

外国語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語から1つ選択)

2. 筆記試験Ⅱ(マークシート)

1) 日本地理 2) 日本歴史 3) 産業、経済、政治、文化に関する一般常識

●第2次試験

1. 口述試験・・・1次試験で選択した外国語（会話）・面接試験
2. 人物考査

外国語以外の科目もあるが、本稿では、以後言語に関係する部分のみ記述する。

筆記試験の合格者のみが口述試験の受験資格がある。なお、前年度の筆記（第1次）試験を全科目受験して合格し、口述（第2次）に不合格であった方及び欠席者は、次の年度のみ筆記（第1次）試験が免除される。

●筆記試験 2時間、口述試験 一人およそ8分程度。

合否判定

合格点は70点であり、試験委員と目標とする平均点から著しく乖離した場合は試験実施事務局から構成される検討会にて決定。

合格者推移

通訳案内士試験の合格者数及び合格率等を参考のため下に引用する。（ ）は合格率（%）で合格率は受験者数に対する比率である。なお、英語、フランス語、ドイツ語、中国語も参考のため引用した。合計や総受験者数は、下に挙げられていない言語、例えば、スペイン語などを含んだ数である。

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成23年
英語	787 (16.8)	1,189 (21.3)	1,065 (20.3)	716 (15.2)	495 (12.0)
フランス語	28 (12.6)	64 (23.0)	53 (18.3)	58 (22.0)	57 (22.1)
ドイツ語	16 (16.8)	2 (23.1)	22 (23.7)	15 (18.1)	12 (15.4)
中国語	182 (8.2)	324 (20.5)	183 (11.4)	165 (10.2)	154 (9.9)
ロシア語	6 (8.8)	16 (22.2)	8 (7.6)	11 (10.4)	12 (11.8)
合計	1,137 (13.1)	1,905 (20.6)	1,559 (17.4)	1,225 (15.2)	932 (12.9)
総受験者数	8,695	9,245	8,972	8,078	7,239

資料：日本政府観光局（JNTO）国土交通省観光庁

試験問題の具体的内容

筆記試験 問題は合計4ページ。

問題1 ページ目

平成23年度 日本の祝日に関する露文を読み、設問に答える総合問題方式。

1. 文章中の（ ）に必要な前置詞、分詞、名詞、動詞を補填する問題6問。
2. 文章中に日本の風習（神輿行列）に関連する語を挿入する問題4問。
3. 文章の題名をつける問題1問。
4. 文章を全訳する問題1問。

平成22年度 日本の美・芸術に関する露文を読み、設問に答える総合問題方式。

1. 文章中の（ ）に入る同義的成句を記入する1問。
2. 文章を全訳する問題1問。

問題2 ページ目

- 平成23年度 1. 民族料理をテーマとする文章の和訳2問。
平成22年度 日本人の民俗心理学的概説を読み、設問に答える総合問題方式。
1. 文章中の()に入る動詞、名詞、前置詞を記入する問題6問。 2. 文章にロシア語のタイトルをつける問題1問。 3. 成句を日本語の成句に翻訳する問題5問。

問題3 ページ目

- 平成23年度 1. 数学や観光、その他についての和文を露訳する問題3問。 2. 「成人式」、「たこ焼き」を40語程度のロシア語で説明する問題。
平成22年度 1. 車内アナウンス、食品の注意書き、ロシア語のイメージ、比喩に関する文章、数学や日本語についての和文を露訳する問題5問。 2. 「お食い初め」、「振り込めサギ」を40語程度のロシア語で説明する問題。

問題4 ページ目

- 平成23年度 日本での生活に必要な用語を露訳する問題15問。
レスキュー隊、カンニング(試験における)、割り箸、巫女、人工透析、官房長官、紅葉狩り、サービスエリア(高速道路の)、ケーブルカー、花火、書道、サーフィン、温泉、マスク(風邪、花粉症の時の)、綿飴
平成22年度 日本での生活に必要な用語を露訳する問題15問。
内定取り消し、リコール、政権交代、新型インフルエンザ、ヘルニア、寺、ペットボトル、謝恩会、桜餅、案山子(かかし)

口述試験

「日本の地理、歴史並びに産業、経済、政治および文化について主要な事柄のうち外国人観光客の関心の強いものを題材として」¹⁶ 4~5パターンの問題が出題され、およそ8分間答える。

5. 比較検討

これまで2. ロシア語能力検定、3. ТРКИ(ロシア語検定試験)および4. 通訳案内士試験のデータを挙げた。ここでは簡単に3者を比較検討しよう。

これら試験は、それぞれ試験の目的が異なり、当然問題の内容も異なるので一概に難易度、優劣は述べられない。

まず、能力検定試験は、試験の主旨(パンフレット1ページ)に記されているとおり、ロシア語学習の到達点の確認と次の目標の設定が目指されており、ロシア語学習の結果としての語学力を客観的に検定することが主に目指されている。各級は日本の大学教育の学年進行にほぼ一致している。管見では、4級(まれには3級)は一般語学(副専攻語)学習者およびロシア語専攻学生1年のレベル、3級(非常にまれには2級)はロシア語専攻学生2年・3年生のレベル、2級はロシア語専攻学生最終年レベル、1級はそれ以上といえよう。また、来日するロシア人と日本人の交流、ロシア語圏での旅行・留学・滞在時におけるロシア語話者と日本人の交流がロシア語使用の中心場面となる。ロシアに特化した文学・文化的側面には注釈がつけられるなど、日本のロシア語教育の現状を踏まえて、レアリーの知識を前提条件とせず、ロシア語力を純粋に検定することが目標になっている。

最後に、問題および検定レベルの均質性であるが、出題および採点はロシア語能力検定委員会の指

導の元に一元化されており、受験生や受験会場による幅・揺れはない。ただし、出題内容は毎年変わるので、年度による問題自体の難易度は生じる可能性があり、これは採点面などで調整する必要が出てくる。

一方、ТРКИはロシアの大学、大学院入学の入学要件としての語学力検定が主目的であり、就学的前提であるロシア現地での生活に必要なコミュニケーション能力の検定も行われる。当然のことながらコミュニケーションはロシア語によるもののみであり、日本語とロシア語の双方向的な翻訳・通訳は対象外である。管見では、市販されている第一レベルに必須とされる語彙集¹⁷も、日本人的視点からみると、動詞が多く、名詞は相対的に少ないという感じがする¹⁸。現地に滞在していれば名詞は直接指差すなどして割愛できるからであろうか。

ロシア現地で生活する以上、ロシア文学・文化的側面やレアリーに対する知識はある程度（日本人ロシア語学習者にとってはかなりの程度）存在が前提とされており、この面の知識不足は解答に「不便」となる可能性がある。

問題および検定レベルの均質性であるが、ТРКИは受験生と試験官との面接方式で実施されるため、試験官個人による判断のゆれや試験会場・設備・機材の状況の差が多少である可能性があり、試験官の公平性・均質性を保つ訓練が必須となる。

第三に、通訳案内士試験であるが、この試験はあくまで来日するロシア語話者に日本で通訳・案内するロシア語能力の認定を主目的とする資格試験である。一般的なロシア語力の存在を前提として、観光資源の知識をはじめ、日本に特化したレアリーを表現する能力の検定がなされている。付随的に語彙・文法、読解力がチェックされるが、それは中心的課題でない。

上記目的のために、必要とされる語彙、表現も、特殊な専門領域・分野・レベル以外には制限がない。通訳案内士試験をヨーロッパ言語共通参照枠CEFRやロシア語能力検定各級、ТРКИと対照した資料は我々の知る限りないが、公開された問題文の語彙、文献、難易度から判断する限り、この試験の合格者は、能力検定試験の1級（まれには2級）、CEFRのC2（まれにはC1）、ТРКИの第4レベル（まれには第3レベル）に相当すると考えられる。

この章の最後に、レアリーの知識以外のロシア語のレベル、語彙に限定して、これら試験とCEFRのレベルと対照させよう。これは本稿のデータから我々が判断するものと公表されているものによる。また日本のロシア語教育の現状の一部を瞥見するため、現在用いられているロシア語教科書の語彙を参照する。

(1) CEFR、ロシア語能力検定各級¹⁹とТРКИの対応

CEFR	ロシア語能力検定試験	ТРКИ	通訳案内士試験
C2		第4レベル	合格
C1	1級	第3レベル	合格の可能性あり
B2	2級	第2レベル	合格の可能性多少あり
B1	2級	第1レベル	
A2	3級	基礎レベル	
A1	4級	入門レベル	

(2) ロシア語能力検定各級と ТРКИ の最低語彙数 (習得語彙数) 対照

次に語彙の面での比較をおこなう。ただし、両試験は語彙に対する態度が異なる。能力検定試験の場合、我々が問題文を検討した結果、1 級は 3000 語に限定されるという意味ではなく、問題に正解するに足る語彙と解釈する方が妥当と思われた。

ロシア語能力検定試験	ТРКИ
1 級 約 3000 語	第 4 レベル-15000 語 - 自由に使いこなせる語彙数 8000 語。
2 級 約 2000 語	第 3 レベル-12000 語 - 自由に使いこなせる語彙数 7000 語。
2 級 約 2000 語	第 2 レベル 6000 語
3 級 約 1000 語	第 1 レベル 2300 語
4 級 約 500 語	基礎レベル 1300 語
	入門レベル 780 語

(3) 日本におけるロシア語教科書²⁰の語彙数

- “Русский язык в упражнениях”邦題「練習問題で学ぶロシア語」全 p383 中、最初の p75 の導入部分の語彙数 350 語。本書は、初版が 1963 年に出版されて以来世界 20 カ国語で出版され、70 回以上の版を重ねている入門期の代表的教科書で、内容から判断し、「練習問題で学ぶロシア語」はおおよそ ТРКИ の入門レベルを想定していると思われる。
- 「Экспресс ロシア語」の語彙数約 500 語。これは、日本の大学の第二外国語 (副専攻語) で広く用いられることが多い。
- 「一冊目のロシア語 改訂初版」約 1100 語。本書は近年出版された教科書では語彙数が多いといわれる。なお、1100 語とは、動詞完了体、不完了体形をそれぞれ別見出しとし、固有名詞を含む数である。もし上記 (1)、(2) の規準に倣って読み替えると ТРКИ の入門レベルになる。

近年日本で出版・市販され、主に大学の第二外国語 (副専攻語) 用教材として用いられているロシア語教科書では、上記 a)、b)、c) より使用語彙数、文法項目が著しく減少しており、能力検定試験、ТРКИ の最低レベルにも及ばない。

これは、日本人のロシア語学習に対する姿勢、ロシア語教育の現状を物語るものであろう。今後のロシア語教育・学習の動向を注意深く観察したいものである。

<注および文献>

- 以下データは、検定試験委員会発行の「ロシア語能力検定 公開試験」という配布パンフレット (2011 年度 第 58 回) および、ロシア語能力検定試験 <http://www.tokyorus.ac.jp/kentei/about.html> による。
- 検定試験委員会 <http://www.tokyorus.ac.jp/kentei/FAQ.html> (2012 年 1 月 15 日当時)。
- 検定試験委員会発行配布パンフレット「ロシア語能力検定 公開試験」(2011 年度第 58 回) 表紙裏および p1。
- ロシア語・スラヴ語学で伝統的に用いられている用語で一般言語学的になじみの薄い用語は、我々が一般語学的用語に変更した。適宜変更前の用語を括弧内で示す。例。移動動詞 (移動の動詞)。
- 検定試験委員会発行配布パンフレット「ロシア語能力検定 公開試験」(2011 年度第 58 回) pp6-7。
- ×式や選択問題でなく、語や文を受験生が書く問題を記述式問題とする。
- 和訳は我々が付した。問題用紙には和訳は付されていない。

8. 総合問題とは、一つの文章に対して異なる（場合によっては異質の）複数の設問があるような問題を指すものとする。
9. ロシア語検定試験（ТРКИ）のロシア語名称は Тест по русскому языку как иностранному 日本対外文化協会（ロシア語検定試験実行委員会）のサイトでは ТРКИ を テ・エル・カ・イ と発音すると記している：<http://www.taibunkyo.com/kentei/kenteilevel.htm>（2012年1月15日当時）。しかし、ロシア極東連邦総合大学函館校のサイトでは、名称は Типовой тест по русскому языку как иностранному で通称：テルキ、ТРКИ とある：<http://www.fesu.ac.jp/>および <http://www.fesu.ac.jp/kentei/index.html>（2012年1月15日当時）。
10. それぞれ <http://www.taibunkyo.com/kentei/kenteilevel.htm>（2012年1月15日当時）と <http://www.fesu.ac.jp/>および <http://www.fesu.ac.jp/kentei/index.html>（2012年1月15日当時）に依拠する。極力原文を尊重したが、部分的に形式などは本稿の必要に応じて変え、弁当持参などの、本稿に直接関係ない情報は省いた。
11. 我々が変更した文法用語は以下のとおり、（ ）内がサイトの原文で用いられているものである。母語（母国語）、移動動詞（運動の動詞）、分詞（形動詞、副動詞）、属格（生格）
12. 資料は様々なものから収集した。体験談を直接収集したり、ウェブ上の資料を利用した。以下も利用した。<http://d.hatena.ne.jp/Souch/20100427/1272402242>（2012年1月15日当時）。表現などは部分的に変えてある。
13. これは、あくまで2009年受験し、2010年に2科目（письмо, аудирование）を再受験した体験者1名の体験談によるものである。
14. <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S24/S24HO210.html>（2012年1月15日当時）
15. 記述の元データは日本政府観光局 Japan National Tourism Organization http://www.jnto.go.jp/jpn/interpreter_guide_exams/index.html および通訳案内士試験ガイドライン <http://www.jnto.go.jp/jpn/downloads/guideline.pdf>による。ただし、本稿の主旨にあわせて適宜表現は変えてある。筆記試験の配点および出題された文章（一部）は以下で見ることができる。http://www.jnto.go.jp/jpn/interpreter_guide_exams/question_archive.html。
16. 通訳案内士試験ガイドライン <http://www.jnto.go.jp/jpn/downloads/guideline.pdf>の6ページ。
17. 文献リストの1。
18. 文献リストの3. 拙著の作成時、出版社より提示された日本人にとっての必須語彙リストと文献リストの1. を比較した結果の感想である。
19. 真嶋潤子「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEF）¹の受け入れ状況の一研究 —ドイツの言語教育機関における聞き取り調査より—」p8も参照した。
<http://homepage.mac.com/jmajimal/bukosite/Aufsaeetze/CEFuukeire.pdf>
20. 文献リストの2. 4. 5. を利用。

<文献リスト>

1. Министерство образования и науки Российской Федерации/ Российская государственная система тестирования граждан зарубежных стран по русскому языку.2005. *Лексический минимум по русскому языку как иностранному/ первый сертификационный уровень. Общее владение/ 3-е издание, испр., Москва–Санкт-Петербург. ЦМО МГУ:Златоуст.*
2. Хавронина, С.А.,Широченская,А.И.2009.*Русский язык в упражнениях /19-е изд. ,Москва:Русский язык. Курсы.*
3. 中澤英彦 2008. 『使える・話せる・ロシア語単語』語研
4. 桑野隆 1986. 『エクスプレス ロシア語』白水社
5. 中澤英彦 2010. 『一冊目のロシア語 改訂初版』東洋書店

※我々は本稿に記載する組織に関係する場合もあるが、公表されたデータにのみ基づき可能な限り、科学的・客観的記述に努めた。

謝辞

ロシア語能力検定試験委員会事務担当の藻利佳彦先生及び ТРКИ 試験官東京外国語大学客員准教授イリーナ・ダフコヴァ先生、外務省の秋山秩恵子氏、東京外国語大学博士後期課程の堀口大樹氏には作成に関して多大なご協力を戴いたことを記して感謝いたします。